

今年度より、「蓮根」(performance RENdering CONcours for piano) という名称で、演奏生成システムをコンクール形式で評価する継続的イベントを実施していくことになりました。

第1回蓮根は、ICAD2002のワークショップとして開催されます。

Invited talk には、ICMC でベストペーパー章を受賞した Roberto Bresin 氏 (Department of Speech, Music and Hearing, Royal Institute of Technology - KTH, Stockholm) を迎えます。当該領域最新の研究成果をご覧になれる、またとない機会です。多数のご参加をお待ち申し上げます。

祝 RWC 研究用音楽データベース公開

音楽情報科学研究会主査 小坂直敏 (NTT)

後藤真孝氏 (産総研) を中心にして RWC 研究用音楽データベースが作成され、今回公開されました。こうした共通データベースは従来なかったもので、音楽情報科学研究分野にとって大変貴重なものです。

当研究会の研究発表会では、講演の後に

フロア：「提案手法の評価実験にはどのような音響信号を用いたか？」

講演者：「用いた信号は市販のハードウェア音源から使用した。」

フロア：「実際の楽器からの音響信号を使うべきではないのか。」

といった議論が頻繁になされてきました。こうした議論では、講演者としてはその指摘は十分認めながらも、現実的にそのようなデータを入手することが困難なことも事実でした。特に、大学の情報系研究室では、音楽研究の伝統が長くない場合や、学生が初めてこの分野に進出しようとするときなど、適切なデータを入手することが困難であるために、音楽研究への着手を断念したり、滞ってしまう、という話をよく耳にします。

今回のデータベースの公開によって、これまで以上に多くの研究者がこの分野に参入しやすくなり、また従来からの音楽研究者にとっても、研究テーマの幅がひろがったり比較評価が容易になったりと、より質の高い研究の展開が期待でき、研究コミュニティとしては大変喜ばしいことと思います。当研究会の主査の立場からも、みなさんが入手して、研究に役立てていただけることを希望します。

なお、このデータベースの内容については当研究会 2001 年 10 月、2002 年 2 月、5 月の後藤氏の原稿に譲るとして、以下では入手方法などを簡単にご紹介したいと思います。入手方法は状況に応じて今後も変更、更新されていくと思います。どちらかという客観的記述を重視する本文の方にはこれを書きにくい側面もありますので、後藤氏の了解を得て、現時点での入手方法について以下にご紹介致します。

こうしたデータベースの誕生をきっかけに、データベースを活用した研究が広まり、今後の新たなるデータベースの提案、構築という動きも出てくることを期待したいと思います。その結果世界中で音楽情報処理のためのデータベースが整備され、ますます本研究分野が進展していくことを願っています。

RWC 研究用音楽データベースのご案内

概要

RWC 研究用音楽データベース (DB) は、研究者が研究目的に利用する上で、共通利用の自由、学術利用の自由が確保された音楽情報処理研究用 DB である。技術研究組合 新情報処理開発機構 (RWCP: Real World Computing Partnership) RWC 知的資源ワーキンググループ (主査: 速水 悟) RWC 音楽 DB サブワーキンググループ (主査: 後藤真孝) によって、平成 12 年度・平成 13 年度に構築された。現在は、RWC 音楽データベース管理責任者 (産業技術総合研究所 後藤 真孝) が、本 DB の管理・運用の全権限を持ち、配布活動をおこなっている。

本 DB は、世界で最初の大規模な研究用音楽 DB である。他の研究分野では、以前から共通 DB の必要性・意義が認識されて、多様な DB を構築する努力がなされてきたが、音楽情報処理の分野では、従来、共通楽曲 DB は存在していなかった。今後、本 DB をベンチマークとして共通に利用できれば、研究者は問題意識を共有しながら、様々なシステムを適切に比較・評価することが可能になる。それだけでなく、統計的手法や学習手法を活用した、DB に基づく多

様な研究の進展も期待できる。学会等における研究成果の対外発表の際にも、著作権等による制約を受けずに自由な使用ができることが望ましい。本 DB が広く利用されることにより、音楽情報処理の研究分野がさらに発展していくことを切に願う。

構成

- ポピュラー音楽データベース (100 曲) & 著作権切れ音楽データベース (15 曲)
音楽 CD 8 枚
配布メディア入手費用: 配布実費金額 9,000 円 + 送料
- クラシック音楽データベース (50 曲)
音楽 CD 6 枚
配布メディア入手費用: 配布実費金額 8,000 円 + 送料
- ジャズ音楽データベース (50 曲)
音楽 CD 4 枚
配布メディア入手費用: 配布実費金額 8,000 円 + 送料

利用方法

誓約書を提出し、配布メディア入手費用を支払うことで、当該 DB の配布メディアを受け取り、利用することができます。ただし、研究目的以外での利用はできませんのでご注意ください。配布メディア入手費用としては、配布実費と送料のみを頂いており、実質上、無償配布となっております。

具体的な入手手続き等については、

RWC 研究用音楽 DB 案内用 WWW ページ:

<http://staff.aist.go.jp/m.goto/RWC-MDB/index-j.html>

をご覧ください。

複数注文される場合には、お手数ですが、別々の誓約書を作成下さるようお願い致します (郵送は一緒に結構です)。

問い合わせ先

- 入手手続きに関する全般的な問い合わせ用メールアドレス:
rcw-mdb-order@m.aist.go.jp
入手手続き (支払い方法等) に関する全般的な問い合わせ
- RWC 音楽 DB サブ WG に対する技術的な問い合わせ用メールアドレス:
rcw-mdb-wg@m.aist.go.jp
RWC 音楽 DB サブ WG に対する技術的な問い合わせ

文献

- [1] 後藤 真孝, 橋口 博樹, 西村 拓一, 岡 隆一: “RWC 研究用音楽データベース: ポピュラー音楽データベースと著作権切れ音楽データベース”, 情報処理学会 音楽情報科学研究会 研究報告 2001-MUS-42-6, Vol.2001, No.103, pp.35-42, October 2001.
- [2] 後藤 真孝, 橋口 博樹, 西村 拓一, 岡 隆一: “RWC 研究用音楽データベース: クラシック音楽データベースとジャズ音楽データベース”, 情報処理学会 音楽情報科学研究会 研究報告 2002-MUS-44-5, Vol.2002, No.14, pp.25-32, February 2002.
- [3] 後藤 真孝, 橋口 博樹, 西村 拓一, 岡 隆一: “RWC 研究用音楽データベース: ポピュラー音楽データベースと著作権切れ音楽データベース”, 日本音響学会 2002 年春季研究発表会 講演論文集, 2-6-7, pp.705-706, March 2002.
- [4] 後藤 真孝, 橋口 博樹, 西村 拓一, 岡 隆一: “RWC 研究用音楽データベース: 音楽ジャンルデータベースと楽器音データベース”, 情報処理学会 音楽情報科学研究会 研究報告 2002-MUS-45-4, Vol.2002, May 2002.